

2010-11年度 国際ロータリーテーマ



地域を育み、大地をつなぐ

会 長 岡島達雄
 副会長 中武泰一郎
 幹 事 武末喜久治
 例会日 毎週木曜日 12:30～
 例会場 ホテル泉屋 2F
 事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4
 ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

第1682回 平成23年2月24日プログラム

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX 披露 |
| 2. ロータリーソング | 8. 各委員会報告 |
| それでこそロータリー | 9. 会員卓話 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 次週例会案内 |
| 4. 会長の時間 | 11. 点 鐘 |
| 5. 幹事報告 | |
| 6. 出席報告 | |

本日の例会内容

- ・ 血圧測定 ・ 100万ドル
- ・ クラブ表彰
- ・ 外部卓話—池亀康雄様

2730地区ガバナー 伊藤 学而
 中部分区ガバナー補佐 岩切 昇

2730地区テーマ

クラブを活性化し、地域と時代の要請に応えよう

高鍋ロータリークラブテーマ

品位のある楽しいクラブを実現し、社会の要求にこたえよう

2月の月間テーマ

世界理解月間（世界理解と平和の日 2/23）

次週の例会案内； 3月3日（木）1683回例会

- ・ 月初めのセレモニー（誕生日祝5名、結婚記念祝3名）
- ・ 内部卓話—木浦亨英君 関正夫君
- ・ 米山ランチ ・ 終了後理事会開催

第1681回 例会内容

■会長の時間

建国記念の日

明2月11日は、「建国記念の日」であり、建国をしのび国を愛する心を養う趣旨の国民の祝日である。なぜ建国記念日と叫びたいのか。

ほとんどの国に建国記念日があるが、それは他国の支配からの独立記念日であり、革命記念日である。例えば、アメリカ合衆国の Independence Day は、1776年7月4日に独立宣言が署名された日であり、フランスのパリ祭は、1789年7月14日にバスチーユ監獄襲撃で政治犯が開放され革命が始まった日を記念している。

一方わが国の「建国記念の日」は戦前の「紀元節」の日を当てたもので、日本書紀に神武天皇が紀元前660年1月1日（旧暦）に日本国を統一し、大和で即位されたとする神話を元に定められたものである。すなわち紀元節は、史実に基づく建国の日とは関係なく、建国されたという事実そのものを記念する日であるらしい。

何でこんなややこしいことになったか。戦前の紀元節は、国の起源を祝うだけでなく国威の発揚や軍国主義を助長するために利用された経緯があった。新憲法になって建国を祝う日を制定するにあたりこの日を当てることに相当の反発があり、結局審議会を設け公聴会を開いて

会長 岡島達雄君



検討し、最終的には構成メンバーの多数決でこの日に決定された。他の祝・祭日は法律で決まっているのにこの日だけは政令で決められている。佐藤栄作内閣時代の1967年から実施された。

今日は、「建国記念の日」をテーマにお話させていただいたが、次は、わが「ロータリー創立記念日、世界理解と平和の日」についてお話させていただくつもりである。

■新入会員入会式—会長より会員章の授与



木浦亨英君

■幹事報告

幹事 武末喜久治君

*3月のロータリーレート

1ドル=84円

*新燃岳噴火災害義援金のお願
いについて（※切3/31）

*日本ボーイスカウト助成金のお願
いについて

*2011-2012年度2730地区ガバナー補佐の決定について
中部分区=林 務氏（宮崎西RC）

*国際基督教大学東ヶ崎潔記念ダイアログハウス基金の
再度の願いについて



*RI 会長賞等の推薦書・報告書提出のお願いについて
 *第3回日台ロータリー親善会議のご案内 (〆切 4/10)
 日時 2011年6月10日(金) 13:00~
 場所 ホテルグランヴィア京都
 登録料 15000円

◆出席報告

出席委員長 凶師義孝君

出席状況

会 員 数	40名
出席会員数	35名
ホーム出席率	87.18%
前々回修正出席率	79.49%



◆BOX 披露

親睦克度委員長 橋口清和君

<ニコニコ・財団・米山BOX>
 岡島達雄
 木浦さんのご入会を歓迎
 致します。



◆委員会報告

R 情報委員長 田中晴敏君

ロータリー夜間大学のご案内

日時 平成 23年 3月 10日
 18:30~20:30
 場所 ホテル四季亭 2F
 会費 2,000円(食事付)
 講師 井上博功君
 テーマ



「私が思うロータリー観と職業観」

*ロータリーに興味がある方参加可。

■青少年指導者養成研修会 (RYLA) 報告

高鍋信用金庫本店 木崎俊樹君

「ロータリー生周年育成プログラム (RYLA)」金庫から勧められ参加することにした本研修でしたが、最初は「ロータリークラブ」という組織自体良く知りませんでした。何も分からず、どうしていいのかわからない状態で集合場所へ。そして、いきなり出された課題が「宮崎のヒット商品を開発して販売して下さい」。



最初は年齢や職業も違う人達が集まったグループで一体何をするのか?と正直戸惑いを隠せませんでした。相席となったメンバーとのぎこちない雰囲気が漂う中で、始めに基調講演を聴き、統計の数値を必死に頭に叩き込み、がちがちになりながらその後のシミュレーションに臨みました。重い雰囲気で始まったかに思えましたが、いざシミュレーションを始めると職業や年齢の壁を超え、初対面とは思えないほど打ち解けた会話が始まりました。

その時間はどちらかというと、課題に取り組むというよりも、グループメンバー同士の会話は多く、少ない時

間でグループの方針を決定し、発表するのにとっても苦労しました。

その反省からか、その後はメンバーから意見が次々と飛び出し、「与えられた時間内で、必ず課題を達成させる」という共通の目標のもとに、メンバー全員が協力しあきらめずに最後までやり遂げようとする気持ちが生まれました。最後の発表では他のグループの完成度の高さに圧倒されてしまいましたが、この課題にグループで真剣に取り組めたことに満足する事ができました。

参加するまでは不安や心配だらけでしたが、終わった今ではもっとたくさんの時間を RYLA で過ごしたかったと思っています。一泊の研修でしたが、楽しく充実した2日間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

■青少年指導者養成研修会 (RYLA) 報告

九州電力高鍋営業所 藤本かおりさん

青少年指導者養成研修会 (RYLA) に参加させて頂き、大変勉強になりました。慣れない土地に困っている私に笑顔で話しかけてくれたり、宮崎のこともたくさん聞くことが出来たので短い時間でしたが、前々からの知り合いだったかのように親友として暖かく楽しい時間を共有することができました。



また、宮崎の温もりを常に感じる事が出来、そんな元気いっぱいのパワーで口蹄疫に続く鳥インフルエンザも頑張っ乗り越えてほしいと思いました。

そして「宮崎の今を知り、宮崎の未来を考える」をテーマとし、宮崎を元気にする事業づくりをしようとグループ討議をしましたが、まだ社会勉強が足りない私にはコスト、設立条件等日常生活からかけ離れているものだったので考えるのに悩まされ難しかったです。

グループ討論を通して、社会に対する自分の未熟さを痛感する事ができたり、相手に分かりやすく物事を伝える難しさ、1~10伝えるのに対して自分は1~100伝える準備をしなければならぬ重要性を知ることが出来ました。そして、当社の仕事とも共通する事は、まず現場第一だと感じました。東国原前知事も現地訪問をすることで現地のお客様の声が聞けたり、商品の良さを自分の目や耳で実際に接する事ができるので消費者の立場に立つことは大変素敵なことだと思いますし、私もできるだけお客様の視線でいられるよう「自分だったら・・・」と常に考えていきたいです。

今回の研修は、土日ということで大変ではありましたが、貴重な時間を頂いたと思っております。研修を通じて色々な事に気づかされたので次は是非また別な方に参加してほしいです。参加することで初心に返って色々な事を考えてほしいです。今年の抱負はたくさん経験することで、たくさんの方の事を吸収し、よりお客様のニーズに近づけるよう、お客様視点でありたいと思います。そして一日も早く先輩方のようになりたいです。

■青少年指導者養成研修会 (RYLA) 報告

九州電力高鍋営業所 英 隆幸君

今回ライラ研修を受講させていただき、研修で最も印象に残ったこととして、数多くの同年代の方々と討論ができたことです。ライラ研修という場でなければ、あれだけ多くの全く違った業種の方々と話す機会はないと思います。そのため、私にはライラ研修が非常に新鮮で、楽しい場でありました。



しかし、全くの初対面ということで、一日目はみな手探り状態で、なかなか意見も出ず、班長が主体となって話す場面が多く、もどかしい部分もありましたが、懇親会で多くの方と研修のこと以外の様々なことも話し、親睦を深めることが出来、二日目には様々な意見が出るようになり、最終的に満足いく発表ができたと思います。このことから、他人と1つの目標に向かって討論するという難しさを学んだとともに、力を合わせる事が大きな力となるということも学びました。

最後に、ライラ研修を受講し、非常に有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

ライラへ参加頂いた3名の皆様ありがとうございました。

又、当クラブより出席して頂きました岡島会長、中武副会長、日高茂君大変お世話になりました。



新世代委員長 河原君

◆会員卓話

雪の米沢訪問

春高バレーの視察と応援に上京した時のこと。応援した都工は二回戦で敗れショック。急きょ米沢行きを思いつき、米沢上杉RC会長の古山さんに電話すると「雪が随分と降っていますよ！」とのこと。心は一気に白一色の米沢に飛んだ。

にこにこ顔の古山さんに駅まで出迎え頂き、雪の積もったあちこちを車で探索して、小野川温泉に。温泉宿、「河鹿荘」は二度目だが、雪降る温泉の露天風呂は初めてで、風情があり、最高に気持ち良かった。寒空の下で雪を背中に感じながら、庭木に積もった真っ白な雪を掬って食べると、それは氷の綿菓子のようなだった。風呂上がりに、雪景色を見ながら頂いた米沢の銘酒「十四代」の味も忘れられない。去年高鍋に来られた佐藤雄二社長に会えなかったのは残念だったが、美人の女将さんに上品なもてなしを受け、さわやかな気分でお別れできた。

夜は、斎藤洋一さん(国際奉仕委員長)が仙台出張か

らわざわざ帰ってきてくれて、三人で会食。古山さんが経営する『ふる山』で、なんと米沢牛のすき焼きを堪能させていただいた。

昨年十月末、米沢上杉RCのメンバー12名が宮崎・高鍋に来られた時に、お二人には少しだけお世話させてもらったとはいえ、余りものもてなしに恐縮するばかりで、お礼の言葉も見つからなかった。

改めて、ロータリー交流の有り難さ、米沢上杉RCとの縁を築くきっかけを作ってくださった上杉鷹山公のご努力とその偉大さに敬服している。

「なせば成る なさねば成らぬ 何事も 成らぬは人のなさぬなりけり」

私が楽しんだ雪は、その後も降り続き、二月半ばには2m近く積もつたらしい。毎朝、屋根の雪下ろしに始まる雪国の人々の大仕事を思うと本当にご苦勞様と言わざるを得ない。河川敷に運ばれた大量の雪が融けてしまうのは7月の始めだという。

3月の例会プログラム

3月3日(1683回) 米山ランチ

月初めのセレモニー

内部卓話(木浦君、関君、)

例会終了後理事会

3月10日(1684回) 血圧測定

IM 報告

PETS 報告

例会終了後プログラム委員会

3月17日(1685回) 100万ドル

内外卓話—RA 委員会 他

3月24日 特別休会

3月31日(1686回)

夜間例会・観桜会

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるかどうか